

アルメル・デスコット氏マスタークラス報告書

アルメル・デスコット氏による海外教員招聘マスタークラス 2019 年 5 月 23 日(木) L512

アルメル・デスコット氏は、ミラノ・スカラ座管弦楽団のおよびスカラ座フィルハーモニー管弦楽団の首席オーボエ奏者で、ヨーロッパ・メディテラネ国際音楽高等教育機関とスカラ座アカデミーで後進の指導にあたっています。



4 人の学生が受講し、氏はまずアンブシュアと口の中の形状が音色に与える影響について説明しました。アンブシュアと口の中を変化させると演奏している学生だけでなく、聴講している学生にも美しく良く響く音になる事がわかり、口に気をつけて演奏する事がいかに音色に影響を及ぼすかを実感する事ができました。

受講曲はテレマン、C.P.E.バッハ、モーツァルト、シューマン、アーノルド、ポンキエリ、ドラティという多岐にわたる曲でした。バロック、古典、ロマン、近代、現代という多様な時代の特徴の説明に続き、それぞれの時代に相応しいオーソドックスで魅力的な音楽表現方法を指導していただきました。

